フレンドマーク塾

PDF 版カリキュラム

第5回

• はじめに

【推奨環境】
このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

◆ 著作権について
当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇ レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。
◇ 本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆ 使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。
本レポートを甲が受けとることにより、甲はこの契約は成立します。

第 1 条(目的) 本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条(第三者への公開の禁止) 本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第 4 条(損害賠償) 甲が本契約の第 2 条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱萬円を乗じた価格の 10 倍の金額を支払うものとします。

第 5 条(その他) 当レポートに沿って実行し、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

第5回カリキュラム

お世話になっております、五十嵐です。

今日は第5回の動画講義をご覧頂きますが、
メールも必ず最後までご覧ください。

今日のカリキュラムでは、動画だけでなく、
文面でも重要な事が書いてあります。

今後、この第5回でお伝えした事が守れない方は、
サポートできない場合がありますので、

必ず本日のメールも最後までしっかり読んで下さい。

それでは、まず第5回の動画をお渡しいたします。

◆第5回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj5/

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

◆第5回カリキュラムの課題

―――――――――――――――――――――

第5回のカリキュラムと動画講義をご覧頂き、
以下の質問に答えてください。

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/5162038/5/

今回も、カリキュラムと講義内容をきちんとご覧頂ければ答えて頂ける問題ばかりです。

課題をやることで、カリキュラムの学習に漏れがないか、ご自身でチェックしていただく効果もあります。

また、解答は、
各回の課題のフォームよりお答え頂いた後に自動返信メールにてお渡しします。

■ビジネス用のメール作成

―――――――――――――――――――――

皆さんには塾生専用SNSをご利用いただいておりますが、

その SNS を通して他の塾生様にメールで質問や何かの依頼をしたり、

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

また、僕にSNSの内外を問わず直接メールを使って
ご連絡頂くことも、今後出てくるかと思います。

更に言えば、今後皆さんがビジネスをしていく上で、
塾の外部の方と、メールでやり取りすることは次第に増えていくでしょう。

人に連絡するのが苦手という方もいるかもしれませんが、
何度も言いますが、これは遊びではなくビジネス、
つまり仕事なので、『嫌だからやらない』という考えは捨てましょう。

ビジネスを拡大したり、発展させていく上では
たった一人でやるのはどうしても無理なのです。

ちなみに私も、元々はインターネットで知り合った人に
連絡するのなんて嫌だと思っていましたが、

正直言って、一人に連絡出来ない人が
ブログやメルマガを通して大多数の方にメッセージを送信するのは無理であり、

また、他人に協力してもらったほうが数倍、数十倍効果的に、且つ早く成果に繋がることなんて
ザラにあるのです。

どのビジネスでもそうですが、
人との繋がりを大切に出来た人ほど、
簡単に成功するものなのです。

これは、皆さんがアフィリエイトで稼げない人から稼げる人になるために
相当重要なこと（どうしても一人でビジネスをしようとする人が多いため）なので、
しっかり覚えておいて下さいね。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

皆さんの中には私より年上の方も多くいて、

人生・社会の先輩という方も多いと思いますが、

今までに皆さんからいただいたメールやメッセージを見て、

ちょっと思うことがあったので、

「お前なんかに言われたくない」

なんてプライドは捨てて、

ぜひ私の話を聞いて下さい。

気になった点は、

「ビジネスとしてのメールマナー」が

出来ていない方が多いな

と思いました。

先ほどお伝えしたように
これから、皆さんがスキルアップしていくにつれて、

私やちょこ講師や、
他のアフィリエイターさんに

メールで何かを【依頼】することが増えてきます。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

何かを相談する際も
私にアドバイスを【依頼】しているわけですよね？

たとえ、挨拶だとしても

こういうメールは、ビジネス的には、絶対にあり得ないです

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
【件名】:はじめまして

【本文】

時間がないので、
アフィリエイトにしっかり取り組めるかわかりませんが、
頑張っていきます！

よろしくお願いします。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

これだと、

・誰からのメールか

・何の用件のメールか

・何をしてほしいのか

が全くわかりません。

また、マナー的にも挨拶から始まり、挨拶に終わるのが当然であり、
友達同士のメールではなく、
あくまでビジネス上の関係であることを忘れてはいけません。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

どれだけ私や他の塾生様と今後仲良くなっても、
『親しき仲にも礼儀あり』じゃないですけど、

塾の仲間は【同じ志を持ったビジネス上の仲間】であることを
絶対に忘れないで下さい。

私にもちょこ講師にも

多数のメルマガ読者さんやクライアントがいますし、

ビジネスの依頼などのメールも

多く来ます。

なので、上のようなメールが来ても、

正直、困ってしまいます。

また、当然ですが
私やちょこ講師だけでなく、
他の塾生様にメール等を送る際も同じことが言えます。

基本的に私はすべてのお客様に
ご返信させていただいておりますが、

今後は、あまりにもひどいメールは
ご返信を控えさせていただくかもしれません。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

先ほどの例の場合だとしても

正しくは、こんな感じのメールが

ビジネス用のメールなので、

参考にしてください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

件名：フレンドマーク塾の五十嵐です

本文：

お世話になっております、フレンドマーク塾第●期生の五十嵐です。

五十嵐さんのコンテンツを受け取るのは
初めてなので、ぜひご挨拶をしたいと思い、
メールを送信させていただきます。

これから2ヶ月間ぜひよろしくお願いします。

最大限努力すると決意しておりますが、
どうしてもPCに向き合う時間が今まで
割けなかったので、

少し周りの●期生さんよりも遅れてしまわないか
不安でもあります。

精一杯、精進しますが、
何かあればご相談させていただくかもしれません。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

その際はどうか、
よろしくお願いいたします。

本日は、ご挨拶だけ
お伝えしたかったので、
短文ですが、失礼いたします。

今後ともよろしくお願いします。

五十嵐

電話番号：●●●

E-mail：●●●

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

みたいな。

電話番号とかは、教えたくない人もいるかもしれませんが、

重要なメールの時には
記載したほうがいいときがあります。

少なくとも、

「お世話になります」

もしくは、

「お世話になっております」

そして、

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

どこの誰なのかと名乗ること

そして、

「今後ともよろしくお願いします」

という挨拶

「メールアドレス」

は必ず記載するべきです。

これから皆さんが相手にするのは塾の内外を問わず

【プロのビジネスマン】であること、

そして自分もこの塾に入って真剣にビジネスを始めた瞬間から
【プロのビジネスマン】であることに自覚を持って下さいね。

こんな基礎で、

依頼を受けてもらえないなんて、

泣くに泣けないので、

ぜひ基本的なスキルとして、
今日からメールマナーは身に着けてください！！

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

ちなみに、トップアフィリエイターと言われる人の中でも、
馴れ馴れしいメールを送ってくる人がたまにいるのですが、

そういう部分が、インターネットビジネスの甘い所かなと個人的には思っています。

インターネットビジネスを

・健全
・明るい
・役立つ
・利用した方が得

という良い印象にしていきたいと私は考えていますし、
それは皆さんも同じだと思います。

そうであるならば、
実践者である我々は、節度を持って
社会人として当然のマナーを身に付けておくべきだと言えるのではないでしょうか。

■番外編

私のメールマガジンは【逆転人生】というタイトルですが、

・フェイスブック
・ツイッター

の公式アカウントをそれぞれ持っています。

それらの媒体では、ビジネスの積極的なセールス等ではなく、
私の個人的な投稿やプライベートな投稿などを見ることが出来ます。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

フェイスブック、
ツイッター、

それぞれ違う投稿をする時が多いので、
もし良かったら、【いいね！】や【フォロー】をしてみてくださいね！

◆五十嵐のフェイスブック（現在公開しているのは個人アカウントです。）

⇒ https://www.facebook.com/yu.igarashi2

◆【逆転人生】公式 Twitter

⇒ https://twitter.com/friendmarktwi

ちなみに、本日の講義動画で、
フェイスブックとツイッターに関してアカウントの取り方など、
簡単な解説をしています。

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj5/

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

■予告

―――――

明日はまた、新しい講義を配信したいと思います。

カリキュラム開始から今日で5日経ちましたが、
この最初の段階でも、成功できる進め方ができている人と、
1000名以上をコンサルしてきた私から見て
【このままだと成功できないな】と思える人と
分かれ始めています。

しかし、言うまでもなく皆さんは全員が成功したいと思っていらっしゃるでしょうし、
私も一人ひとりの塾生様全員に成功して頂きたいと心から思っています。

ですので、この最初の段階で
【自分が成功するために正しい学び方や実践の仕方ができているか】を
深く考えて頂ける講義をしたいと思っています。

ノウハウとは直接は関係ありませんが、
9割とも言われる成功しない人の大半に当てはまることを講義で指摘させて頂きますので、
ぜひ集中して明日の講義もご覧頂きたいなと思います。

それでは、本日学んだことなど
またSNSの日記に記載しておいて下さい。

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

◆第1回から第5回までの動画

今までの動画を復習したい方は以下よりどうぞ！

◆第1回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/friend1/

◆第2回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj2/

◆第3回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj3/

◆第4回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj4/

◆第5回カリキュラム動画

⇒ http://friendmark.biz/tr/groups/6076016/fmj5/

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.

貴方の成功を心より
願っています☆

五十嵐

Copyright(C)2014 Friendmark.All Rights Reserved.